



覇 走

西門川中学校だより 第16号

令和元年12月13日発行

文責 校長 後藤 直樹

はや師走です。令和元年も終わります。

- 11月29日(金) 門川高校の学習成果発表会がありました。様々な分野で研究した成果を発表しました。さすがに高校生です。どの科の発表も工夫があり、内容もしっかりしたものでした。参加したうちの生徒にも刺激になったと思います。
- 12月4日(水) 読書集会がありました。今回は先生方担当です。3名の先生が自分の紹介したい本を紹介しました。読みたくなるような本ばかりで、生徒の読書意欲の向上につながったのではないかと思います。
- 12月6日(金) 第4回参観日と長距離走大会が行われました。曇り空でやや肌寒かったですが、走るにはとてもよい気候でした。生徒には目標を立てその実現に向けて走ることをお願いしました。けがなくほとんどの生徒が完走できました。
- 12月10日(火) 講師派遣事業で旭化成メディカル株式会社の岡富工場に全校生徒で見学に行きました。ここでは人工腎臓など「ろ過」に関する製品を製造している工場です。
- 12月11日(水) 地域の方の講演会がありました。本校の卒業生で、三ヶ瀬地区にお住まいの方にご自分の人生やふるさとのよさを楽しくお話していただきました。生徒にも職員にもとてもためになる講演でした。お忙しい中、本当にありがとうございました。
- 12月12日(木) しめ縄作りの準備をしました。
- 12月13日(金) しめ縄作りを行いました。
- 12月24日(火) 終業の日です。5月に元号が「令和」に変わりました。しかも、本校最後の年に。この歴史的な転換点に遭遇したことは運命的です。一生忘れることがないでしょう。



毎年、上井野地区高齢者クラブの協力をいただいで実施している「しめ縄作り」ですが、今年で最後となります。本当にお世話になりました。しめ縄作りの様子については、来年の17号で紹介したいと思います。



走っている途中に何回も「もう、休もうや」「歩いてかまわんが」という弱い自分の声が聞こえてきたね。でも、最後まで走りきった君、タイムや順位だけではない確かな自信をもらったね。



様々な性質を持った物質を「分離」する実験や特殊な繊維による「ろ過」実験など生徒には新鮮で興味深いものだったはず。これからの進路選択にも役に立ちました。



旭化成メディカル工場では、「ろ過」に関する実験や工場見学、新入社員の体験談など様々なメニューで楽しく学ぶことができました。お世話になりました。ほとんどのラインがロボット化されていました。人間のやることは、検査と調整だそうです。

ところで、検査には女性が向いているという話を聞きました。忍耐強さと観察力は男性には太刀打ちできない女性の特性かもしれません。なるほどと思いきらされているのは私だけでしょうか。

【12月後半のスケジュール】

- 12月15日(日) 家庭の日
- 18日(水) 学級・全校専門委員会
- 24日(火) 終業の日
- 25日(水) 冬季休業日(～1月3日)
- 推薦入学者選抜検査受検者指導
- ※ 1月6日(月)が始業の日となります。

《編集後記》 「もう12月か！」という感じです。令和元年も終わりを告げようとしています。さて、今年を表す漢字は「令」でした。私の予想は、あたりました。ちなみに去年は「災」でした。今年も「災」としてもいいくらい災害が多かったですね。今号で今年最後になります。冬休みに入ります。来年1月に、また再開します。皆様、よいお年をお迎えください。